

# シリーズ④ おいどんがふるさと 時吉区

さつま町内の20区公民館が取り組んでいる特色ある活動、イベントなどを紹介しています。



館長 田中 俊徳さん

時吉区は、さつま町の市街地から北東の方向へ約2キロメートルの位置にあり、昭和20年代に取り決めた「公民館基本方針」と「申し合わせ」により活動を進めています。

若者定住、美しい環境づくりを進め、平成8年には農業集落排水事業が完成し、生活環境の改善、農業用水路の浄化に大きく貢献しています。

時吉区では、「春の運動公園での花見」「親子ふれあい相撲大会」「ほたるを見る夕べ」「夏祭り」「敬老大運動会」「親子会を中心とした新春書き初め」「鬼火たき」などの催しを区民が一体となって行い、数多くの歴史を刻んでいます。



◆人口 472人、世帯数 159世帯、公民会数 4公民会

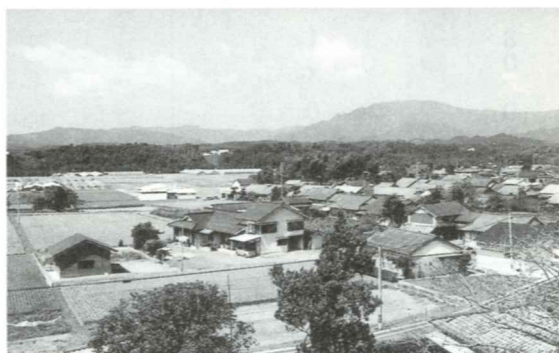
## 文化財



「多賀神社」は、時吉の全域を見渡せる高台にあります。昔は「彦権現」と呼ばれており、明治初年廃仏はいぶつ毀釈きしやくが行われた時「多賀神社」と改められました。

また、時吉区で披露する「金山踊り」は町の無形文化財に指定されています。

## 景勝地



時吉運動公園から望む紫尾連山は絶景です。特に連山に沈む夕日は雄大で美しく写真撮影にはおすすめのスポットです。

## 地域活動



時吉区には、水田66ha・畑12ha・樹園地1haの耕地があり、施設トマトや畜産、水稲を組み合わせた複合経営が営まれています。

集落農場への取り組みは昭和63年から始まり、集落農場管理センター建設や農作業受託センター建設などにより、集落農場の一層の推進・受託組合の機能充実が図られたことで、若い担い手による花卉專業栽培やトマト農家の規模拡大への取り組みが進んできました。また、これらの村づくりに対し、平成9年農林水産祭むらづくり部門で農林水産大臣賞を受賞しました。

## イベント



川内川沿いにある「日暮地区」は、『ほたる』にふれることのできる場所です。都市と農村との交流の場として始めた「ほたるを見る夕べ」もすでに10年を経過しており、今も県内や県外の多くの方との交流が行われています。会場までは、子どもたちが作成した灯籠が幻想的な道案内をします。